

## 要 望 書

氷見市長 林 正之 様

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日ごろから、仏生寺地区の振興にご理解ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

仏生寺地区では、平成25年に仏生寺地域づくり協議会を設立し、平成27年には、仏生寺地域づくり計画を作成し、地域の活性化や課題解決に向けて取り組んでいるところであります。

昨年は、氷見市持続可能な地域づくり支援事業費交付金の支援をいただき、地域づくり協議会の事務所を開設させていただきました。

また、氷見市地域づくり協議会人件費補助金を活用し、事務所にパートさんを一人雇用させていただきました。

このように、毎年ご支援をいただいておりますが、それでも地区の課題は山積しており、本年は次のような課題解決に向けて取り組みたいと考えております。

### 1 市道仏生寺小学校線寺中側法面の土砂崩れ防止対策について

市道仏生寺小学校線の下側法面及び惣領方面から入る道路の法面（野球用バックネットの下方）は、富山県の急傾斜法面工工事が完了しました。しかし、寺中方面から入る法面（旧校舎の前）は、慢性的に土砂崩れが発生しておりますが、いまだに土砂崩れ対策の予定がありません。

旧仏生寺小学校体育館は、仏生寺地区で唯一の鉄筋造りで多く人を収容できる避難所ではありますが、土砂災害特別警戒区域に指定されていることから、土砂災害の避難所から除外しており、土砂災害を想定した防災訓練は、毎年、十三中学校で実施しています。通常の通行はもとより、災害時の避難所の観点からも一日でも早く土砂崩れ防止対策を実施して下さるようお願いいたします。

## 2 戦没者慰霊碑の倒壊防止対策について

旧仏生寺小学校の寺中側入口付近に仏生寺地区の戦没者慰霊碑が建立されております。慰霊碑の基礎となる県道沿い歩道側のコンクリート法面にひび割れが発生し、慰霊碑の倒壊や土砂流出による人的被害を憂慮し、平成29年8月に、仏生寺地区の全額負担で、法面の補修工事を実施しました。

しかし、慰霊碑周辺のコンクリートにも多数のひび割れが目立つようになり、慰霊碑の倒壊防止対策が急務と考えております。

2年前に、全額地元負担で工事をしたこともあり、これ以上の地元負担は、住民の理解が得にくいのが実情であります。

全国に民間が建立した慰霊碑等が13,174基あり、仏生寺地区のように老朽化による慰霊碑の倒壊や住民の安全確保するための対策が必要なことから、平成28年9月に、厚生労働省が県や市町村が行う事業を交付の対象とする「国内民間建立慰霊碑移設等事業費補助金交付要綱」が制定されました。どうかこの制度を活用して、仏生寺地区の慰霊碑の倒壊防止対策を実施して下さるようお願いいたします。

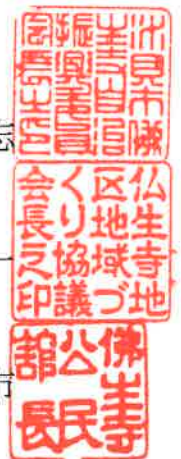
以上、2つの課題につきまして、氷見市のご理解、ご支援を賜りますようお願いいたします。

平成31年4月8日

仏生寺自治振興委員会委員長 根山 仁志

仏生寺地域づくり協議会会長 屋敷 宗一

仏生寺公民館館長 松下 正市







県道の歩道側基礎



戦没者慰霊碑



戦没者慰霊碑前



寺中側入口法面